

草津市指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和元年10月15日(火)	開催時間	午前9時から 午後0時まで
出席者	委員5名、施設担当職員3名、事務局3名 各申請団体		
傍聴者	なし		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めること等について 「草津市立地域まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 7施設(志津・志津南・草津・大路・渋川・矢倉・老上)		
<p>1 開会</p> <p>2 「草津市立地域まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 7施設(志津・志津南・草津・大路・渋川・矢倉・老上)</p> <p>①担当課より施設概要等説明</p> <p>②申請者から申請書について説明(1者)</p> <p>③質疑応答(1者) 上記①～③×7回</p> <p>④審査・採決(非公開)</p> <p>3 事務連絡</p> <p>4 閉会</p>			

- ◆令和元年度末で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

「草津市立地域まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 7施設(志津・志津南・草津・大路・渋川・矢倉・老上)

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

指定管理者要項記載のとおり。

施設の名称	草津市立志津まちづくりセンター
所在地	草津市青地町 561 番地
建設時期	昭和 53 年 3 月
規模	敷地面積 (㎡) 1,023
	延床面積 (㎡) 634
構造	鉄筋 2 階
施設内容	事務室、調理室、和室、研修室、図書室、大会議室、サロン
施設の名称	草津市立志津南まちづくりセンター
所在地	草津市若草五丁目 10 番地
建設時期	平成 9 年 4 月
規模	敷地面積 (㎡) 1,500
	延床面積 (㎡) 521
構造	鉄骨平屋
施設内容	事務室、調理室、和室、多目的室、大会議室、地域活動室、サロン
施設の名称	草津市立草津まちづくりセンター
所在地	草津市草津一丁目 4 番 33 号
建設時期	昭和 56 年 7 月
規模	敷地面積 (㎡) 1,111
	延床面積 (㎡) 669
構造	鉄骨 2 階
施設内容	事務室、調理室、和室、研修室、大会議室、サロン
施設の名称	草津市立大路まちづくりセンター
所在地	草津市大路二丁目 9 番 11 号
建設時期	平成 21 年 4 月
規模	敷地面積 (㎡) 1,500
	延床面積 (㎡) 1,047
構造	鉄骨 3 階
施設内容	事務室、調理室、和室、2 階研修室、3 階研修室、 大会議室、地域活動室 ※のびっ子大路（3 階）が併設
施設の名称	草津市立渋川まちづくりセンター
所在地	草津市西渋川二丁目 9 番 38 号
建設時期	平成 19 年 5 月

規 模	敷地面積 (㎡) 4,344
	延床面積 (㎡) 566
構 造	鉄骨3階
施設内容	事務室、大会議室、小会議室1、小会議室2、調理室、和室 ※のびっ子渋川、障害者福祉センター（2階）、 発達支援センター（3階）が併設
施設の名称	草津市立矢倉まちづくりセンター
所 在 地	草津市東矢倉二丁目13番6号
建設時期	昭和58年4月
規 模	敷地面積 (㎡) 1,598
	延床面積 (㎡) 471
構 造	鉄骨2階
施設内容	事務室、調理室、小会議室、和室、研修室、大会議室、サロン
施設の名称	草津市立老上まちづくりセンター
所 在 地	草津市野路町520番地
建設時期	昭和61年4月
規 模	敷地面積 (㎡) 1,252
	延床面積 (㎡) 487
構 造	鉄骨2階
施設内容	事務室、調理室、研修室、和室、図書室、大会議室、サロン

(2) 募集概要等

募集方法は、非公募により以下のとおり、各学区まちづくり協議会を候補者として選定、指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間

公の施設の名称	候補者
草津市立志津まちづくりセンター	志津まちづくり協議会
草津市立志津南まちづくりセンター	志津南学区まちづくり協議会
草津市立草津まちづくりセンター	草津学区ひと・まちいきいき協議会
草津市立大路まちづくりセンター	大路区まちづくり協議会
草津市立渋川まちづくりセンター	渋川学区まちづくり協議会
草津市立矢倉まちづくりセンター	矢倉学区未来のまち協議会
草津市立老上まちづくりセンター	老上学区まちづくり協議会

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうかが出席委員の多数決により採決

2 各申請者による申請内容の説明および質疑応答

◆志津まちづくり協議会（以下「志津」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：アンケートで評価が悪かった点について具体的に。

<志津>：男女が共同で利用する男女共用トイレの評判が悪い。事務所窓口が玄関から入って奥の方に設置されており来館者には受付がわかりにくいとの御意見もある。

<委>：住民のニーズに合った、希望に添った事業等を求められると思うが、どのように工夫されたのか、伺いたい。

<志津>：志津学区独特なのが、けん玉。子どもには子ども広場、絵画広場、合唱広場。また、高齢者向けに映画サロンなどを開催し、いつでも気軽に集っていただけるような会館にしたいと考えて取り組んでいる。

<委>：2階の大会議室と図書室は、がらんとしていて広い感じだが、利用についてはどのように工夫しているのか。

<志津>：大会議室については、合唱コーラスまた体操、ピアノの講師を招いて音楽の活動サロンを行っている。あと最近では吹き矢協会による吹き矢をされている。図書室については、本大好き会グループにより、定期的に本の整理や読み聞かせをやっており、さらには本の貸し出し記録や整理をして有効的に図書を活用をしている。

◆志津南まちづくり協議会（以下「志津南」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：平成30年度の評価の中で、アンケートが実施できてないという報告があるが、その中で職員の長期病欠による職員体制にひずみがでて運営に支障をきたしたということであるが、現在は回復されてるのか。また、アンケートについて、なぜ実施できなかったのか。

<志津南>：アンケート未実施については、平成29年度にやっており、利用する方が固定化し、職員も変わってないということで、同じような設問事項で問うても、前回のアンケートと同じような結果が返ってくるだろうと思い実施しなかった。職員体制については、職員の出産により休みが続いていたが、今は臨時的に職員を雇用してカバーしており、特に支障はない。

<委>：冒頭にあった5カ年計画とは。

<志津南>：29年度のアンケート結果を元にして5カ年計画を作成した。アンケートの結果から一番まちづくり協議会でやってほしいこととして、防犯、防災がある。学区全体としても防災の取組を今年からやる予定である。避難所に来た場合にどういう行動をしたらいいのかなど。

<委>：29年度から30年度にかけて会費を値下げしたのは何か理由あるのか。

<志津南>：当初よりいろんな事業の見直しがあり、多い目に設定していた会費を必要でなくなったところから徐々に下げてきた。町内会費から徴収するまちづくり協議会の会費を下げることで町内会費の残高を増やし、町内会での事業に活用いただく。

◆草津学区ひと・まちいきいき協議会（以下「草津」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：指定管理業務事業計画書のサービスの安全性の評価、経営状況分析指標、事業促進業務において自己評価Cになっているのはなぜか。

<草津>：利用件数自体は増加しているが、利用人数自体は減ってきているため。

<委>：何か原因があるのか。

<草津>：一例として、利用団体に加入されている方が少なくなっている。会員数が減ってきているというのが、原因の一つかと思われる。

<委>：経営状況分析指標の結果は妥当であるがサービスの安定性の評価もCになっているのはなぜか。

<草津>：今までふれあいまつりを草津小学校で実施をしていたが、昨年度は、立木神社をお借りした。設備自体を全て一からやったため経費が非常に高くてしまったため。

<委>：予算の中で、公用車リースとあるが、これは送迎車か何か。

<草津>：業務用公用車であり、送迎ではない。

<委>：年に一回企業研修に参加され、非常に意欲的ではあるが、何か斬新なアイデアとか生かすものがあったか。

<草津>：今のところ特にはないが、来られた住民の皆さん方との面談のやり方が若干変わってきているような気がする。

◆大路区まちづくり協議会（以下「大路」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：他のセンターと比べてみて、特徴あるいはここがやりにくいなど何かあるか。

<大路>：今、条例で使用時間は9時から21時となっているが商業地域かつマンション集中地域のため、できれば21時30分ぐらいまで利用できるような日があればよいと思う。また、大路の場合は、マンションも2つの形態があり、1つはもともと住んでおられた方が地権者のマンションと、住宅会社が販売されたマンション。他地域あるいは市外から来られた後者を大路区民祭りやイベント、運動会などへ参加を促すにはどうするとよいのかという点がある。

<委>：PRをどうしているのか。

<大路>：各マンションにも自治会か、町内会をつくってもらっていて、町内会長委員会というのを開催している。他には情報誌を発行しているが、マンションは、1戸1戸お部屋のほう世帯のところに届くマンションもあれば、出入りに置かれてるというマンションもあり、どこまで届いているのか正確には掴めない。

<委>：アンケートで自主教室の手続書類等が多く複雑であるという意見があったが、何か検討したか。

<委>：今の書式は、市の書式であり、直すことができない。

<担当課>：今、話があったように、事務局のほうで全館統一の書式だが、御意見を踏まえてできるだけ簡素化はしている。ただ、よりよい利用者のため申請書式をまた改めていきたいと思う。

◆渋川学区まちづくり協議会（以下「渋川」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：特に渋川学区に特化したような課題というのはどのようなものと理解されているのかということと、渋川学区に特化したような課題というのは、どんなふうにして調査をされるか。

<渋川>：渋川学区は、マンションが増えており、元々の一般戸建ての住人とのコミュニケーションの問題がある。来年から5年先のまちづくり計画を策定中で、その中でも子育て世代、高齢者福祉等、色々な課題がある。今それを検討している状況である。

<委>：ほかの地域にも同じようにまちづくりセンターもあるわけだが、どういうふうにお互い考え合っているのか。

<渋川>：新しいマンションを建築されるときには、町内会に入ってください、まちづくり協議会に入ってくださいと約束して入ってもらうのだが、1、2年はそのまま入ってもらうのだが、次第に役もしなくてはならない、暇はないからやめるという方が大変多くなってきた。

小学生の子どもがいると小学校区の単位でやっているの、学校のこともあり、ちょっと辞めづらいから入っておこうかというようなことだが、子どもが中学生になってくると辞められる方が多い。

◆矢倉学区まちづくり協議会（以下「矢倉」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：提案事業計画の新規事業の中にある自分磨き講座とは具体的にどういった内容か。

<矢倉>：今までのような年齢制限がなく、若い層と年代層とのギャップをできるだけ縮めて、若い人でもその中に溶け込んで、お年寄りも若い人としゃべれる、そういうような輪づくりを一つの講座として、例えば花植えをすとか、自分を磨くための一つの講座としてやり出した新しい事業である。

<委>：矢倉独自の仕上げ方式とは。その成果を含めていつごろから、どうなのか。

<矢倉>：3回の視察研修をさせていただいて、自分たちのやりたいこと、自分たちの地域で自分がこういうことやったらいいな、こういうことやりたいな、これを思い切り出していただいて、部会に行ったら全然意見も言えない、わからない状況の中でのよりも、自分はまちづくりのために、例えば花を植えたいんだ、こんな活動したいんだ、あるいはこういう講座をしたいんだ、そういうようなことを自分たちで決めるために、そういう議題に対して募集し、希望者は手を挙げるよう募った。

◆老上学区まちづくり協議会（以下「老上」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：総合評価の所見でハード面での質については課題が残っていると書いているが、どういった課題が残っているのか。

<老上>：施設自体がかなり老朽化しており、市内にある14の中でも5番目ぐらいの古さ。雨漏りが見受けるところがあるので、準じ改修を行っている。今年は志津のまちづくりセンターを改築、順番に市としては改修を行っていくということで、恐らく

御指摘をいただいているのかなと思っている。

<委>：まちづくり活動への参加について、マンションに対して管理組合からを通したアプローチは何かできないのか。

<老上>：管理組合のほうにはこちら働きかけているが、マンションごとに対応が異なり、快くこちらの意図をくんで情報を伝えいただくところもある一方、難しいところもある。少しずつだが、働きかけながら管理組合自体から御理解を得られるようにやっっていこうと思っている。

3 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、7施設全ての候補者について適当であるとの結論に至った。